四ヶ国語が話せる先輩からのアドバイス！

琉球大学での外国語学習

琉大生の皆さん、外国語の学習は順調でしょうか。もちろん、外国語を学ぶ理由は個々に異なると思います。就職や進学のために学ぶ人もいれば、世界の多様性を体験するために学ぶ人もいます。どちらにしても、自分の動機と目的を把握し、それに適した学習方法を選ぶことが重要なポイントです。

幸いにも、琉球大学では皆様に多くの貴重な学びの機会を提供しています。このコラムでは、四カ国語が話せる文学系TA（留学生）が琉大ならではの外国語学習方法をいくつか紹介します。

①　授業系

1.1　共通教育等

琉球大学共通教育等履修規程により、「外国語科目」（科目番号「外〇〇〇」）を履修することが必須とされています。外国語科目には、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語、インドネシア語、タイ語、ラテン語、そしてロシア語があります。卒業のために単位を履修しながら、外国語の勉強をさらに進め、さらに新しい言語を学び始めるには絶好の機会になります。｜※各学部・学科・プログラムにより、必修単位数と必修の外国語科目が異なるため、ご自分が所属している学部・学科の学生便覧を確認した上で履修しましょう。

1.2　共通教育等（外国人学生対象）

また、外国人学生の特例には、共通教育が提供している日本語・日本事情科目（科目番号「日〇〇〇」）を履修した場合、日本語科目は外国語科目の単位に、日本事情科目は外国語を除く共通教育の科目の単位に充てることができます。様々なレベルとアプローチの授業があるので、是非とも日本語を勉強し続けて、不安をなくしましょう！｜※琉球大学国際教育センターが提供している日本語学習科目（科目番号「国セ〇〇〇」）は受入の短期交換留学生が対象となっており、共通教育等科目ではありませんので、外国人学生の特例として認められません。ご登録の際にご注意ください。

1.3　国際地域創造学部

国際地域創造学部の国際言語文化プログラムには、英語圏の国・地域をはじめ、ドイツ、フランス、スペインの言語と文化について専門的な科目（科目番号「英言・欧言〇〇〇」）がたくさんあります。国際言語文化プログラムに所属していなくても、琉球大学の学部生なら自由科目としてこれらの科目を履修することができます！多様性に富んだ科目を揃えていますので、より深く言語・文化を学びたい学生には最適です。｜※ご自分の卒業条件を確認した上での履修計画を立て、自由科目の枠を利用して外国語を学びましょう。

1.4　ペラペラ団

ペラペラ団とは、英語学習アドバイザーが主催する、琉球大学のコミュニティ（学生・卒業生・スタッフ）のための英会話練習グループです。学期中、毎週授業の1コマ（90分）に共通教育棟等に集まり、アドバイザーの支援を受けながらゲームやグループアクティビティを通じて英語での会話を楽しく練習します。英語で話せるようになりたい学生から友達を作りたい留学生まで、様々な方が参加されているので、楽しみながら成長していけます！｜ ※毎回日時と教室が少し変わるため、参加希望の方は登録が必要です。アドバイザーのメールにお名前、学生番号、自己紹介を含めて登録してみてください。

② 交流系

2.1　GCC（Global Commons Concierge）

GCC（Global Commons Concierge）とは、琉大生による琉大生（学部生、院生、留学生）のための留学・語学学習サポート組織です。主な活動は、留学に関する相談、他国の文化についてワークショップ、そして「しばふ」という英語、日本語、たまには中国語など外国語の会話練習セッションです。学生が主催している登録・予約不要のイベントが数多くあるため、日本人と外国人の学生の交流の場となっています。学生同士でお互いをサポートし合って、楽しみながら語学学習などを進めることができます。イベントの日程や実施場所については、GCCのSNS（InstagramとLINE）を確認しましょう。

2.2　イングリッシュランチ（English Conversation Lunch）

イングリッシュランチとは、昼ご飯を食べながら英語で琉球大学外国語ユニットの専任教員とお喋りするイベントです。毎週1回、昼ご飯の時間帯に開催され、自分のお弁当を持参し、気楽に参加できます。｜※毎学期、開催曜日と教室が変わるので、外国語ユニットのHPで確認しましょう。

③ 自習系

3.1　図書館の国際資料

琉球大学附属図書館には、外国語を学習している学生にとても良い資料がたくさんあります。本館2階の左奥にある「グローバル・コモンズ津梁（国際資料室）」には「世界の国・地域に関する資料」があり、「語学書コーナー」には外国語学習のための資料と「世界の教科書シリーズ」を備えています。「外国の教養雑誌、新聞」のコーナーには、英語、ドイツ語の教養雑誌と、英語、中国語、韓国語の新聞があります。そして、「英語多読コーナー」には各レベルに適応した英語の読み物が揃っています。また、3階の「閲覧室図書（和・洋）」の外国文学の本棚にいくつかの作品が揃っています。外国語の読解を練習しながら、クラシックな小説を読む機会になります。｜※学生証を使い、図書館に行き、できるものを貸出し、外国語での読書を挑戦しましょう！

3.2　e-learningシステム「アルクネットアカデミーネクスト」

琉球大学アルクネットアカデミーネクストとは、インターネットブラウザ上で、資格試験のTOEIC対策、語彙力や英作文、幅広く英語を自習できるe-learningシステムです。外国語が勉強できるのは、パソコンのもう一つの便利な点だと言えましょう！｜詳しい受講方法は「琉球大学ネットアカデミー特設サイト」を確認しましょう。

④　留学系

【※前置き】実体験を通じて他言語と文化を深く学びたい学生には、留学が非常に大事な機会となります。一方、事前の準備（語学力証明書を含めて申請書類の用意など）、現地での勉強や生活、修了後の復帰に注意を払わなければなりません。調べ、相談し、勉強してから留学を決めましょう。そして自分の知っている世界を広げていきましょう！

4.1　短期交換留学（派遣）制度

「短期交換留学（派遣）制度」とは、琉球大学に在学したまま外国の協定校へ1学期以上1年以下の間留学するプログラムです。琉球大学は30か国・地域を超える、100以上の大学と学生交流協定を締結しているほか、ISEP、UMAPというシステムにも加盟しており、留学先の選択肢は多くあります。毎年度、2回の募集期間（6月頃と10月頃）があり、それぞれの派遣時期も異なります。琉球大学への授業料を納入することで、派遣先大学の授業料が免除されること、語学留学とは異なり、自分の専門分野を海外の大学で学べる（単位互換の手続きあり）ことが本制度の魅力です。

4.2　海外文化研修

「海外文化研修」とは、共通教育等科目総合科目として実施される短期留学プログラムです。英語、中国語、フランス語、スペイン語、ドイツ語の5つの言語圏で実施されます。海外で2～4週間程度の集中講義を受講し、研修を修了することで単位が認定されることもあります。長期間1人で留学する前に、関心のある文化や言語を安心して体験できる機会です！｜※実施されるプログラムについては「琉球大学海外文化研修特設サイト」を確認しましょう。

4.2　その他

上記の留学プログラムの他にも、琉大生なら次のプログラムに、学生部国際教育課を通じて学内で応募することができます。バレンシア国際カレッジプログラム（留学及びWalt Disney World での海外インターンシップ）、トビタテ！留学JAPAN新・日本代表プログラム（官民協働海外留学支援制度）、沖縄からアジアへトビタテ！海外研修事業（県内企業インターンシップ及び海外研修）など。｜※各プログラムの条件、そして自分の履修計画への影響をしっかり調べてから応募しましょう。

これまで紹介したように、琉球大学の大学生なら、外国語を学習するには本当に多くの方法と勉強の機会があります。これから、皆さんも情報を得て機会を活かし、楽しい時には楽しく、困難な時には逞しく頑張りながら、自分の目標を達成していきましょう！

※　本コラムの目的は、琉大生が利用できる外国語学習方法に関する情報を整理することです。そのために、琉球大学の教務情報、国際地域創造学部、国際教育センター・外国語ユニット、附属図書館、学生部国際教育課の各公式ホームページを参照しました（2024年1月5日現在）。ただし、ここに掲載されている情報は、あくまでも紹介のためなものです。それぞれの学習方法について詳しく知りたい場合は、本コラムにはられているリンク（文中で下線されている言葉）を通じて、又はご自身で検索して、各担当課にお問い合わせください。

（地域共創研究科M2　文学系TA）